

える、私は橋を渡つて少し先へ往つた所で杉並木を寫生した、其處を仕上げて、川上へ往く、往けどもくゝいゝ所がない、見付からない、連中も一人も居ない、一體何處らでスケッチをして居るのだらうと噂をしつゝ進む、横道へそれて見たが面白くない、YY君は僕はあちらの方へ往くと云つて別れて往つた、二人で又川上へ往く、やゝものになる所へ出たので三脚を据えた、總體に昨日の方がいい感じをして居たやうだ、丁度十二時頃であつたので宿屋から携へて來た辨當を開いたがその不味いとく、敢て辨當の所爲といふのではないがスケッチは失敗に終つて又川下へと下つた。鐵橋の際で又一枚をやる、それを描いてから町の中へ這入つて往く、橋の袂で何處からかYY君が出て來て一所になつた、宿屋の前を通り過ぎて寺のある所を右へ往つた、輪廊の面白い杉の木立が見えるので、それを目當に進むと池の畔へ出た、杉の影が水へ寫つて面白い、處で私は落つて此旅行の最後の一枚を描いた雨は止んで居るが時々ザツと來る、五時四十五分の列車に乗る筈なので筆を擱こと急き停車場へ往つた、別れた連中は皆集まつて居る、河合藤島兩氏とAT君は前車で歸つたさうだ、二三人は未だ來ない、連中は非常に歩いて遠く川上の方迄往つて、行程殆ど五里に及ぶと謂つて居る。やがて汽車が來たので乗込んだ、二日の寫生旅行もこれで終つた、雨は名残なく霽れて、もう明日は大丈夫ですよと謂はぬ許りに雲がゆきゝをして居る、汽車はしづ／＼と出る。私はかう思つた、越ヶ谷は感じと色とに於て實に豊富だ、その

靜かなながめは妙に人をチャームする力を持つ居る、殊に雨中の光景は素敵なものだ、併し憾むらくは位置が面白くない、たゞ廣くて擱へ所に苦しむのである。(了)

寄 書

日 誌

ケーワイ生

金曜、快晴、

今日は先生が來られる日だ、モデルの寫生も大分纏つて來た、先生は何とおつしやるだろー、又形が悪いと云はれるにきまつているなど、思つていると、果して十一時頃來られた。騒しかつた畫室が俄に水を打つたやうに靜かになる、先生の評が初まる、君のこれはいかぬ、まだ直らぬと、一人々々の癖をよくも覺えて居られる者だ、一寸よい所？があるとはめて下さる、うれしい、然し……此然しからが悪くなるので……こゝなどはうまくいつたがモデルの感じがとれていない、顔の向なども初めて眞中の線を引いてどのくらゐの傾きと云ふ事を計つておくのだ。又一人には、君の畫は堅くなつていけぬ、もう少しぞんざい……ぞんざいでもいいかぬが軟くやつたらよかるーなどと評せられる。又一人には、先週よりよくなつたが、モデルの感じが出ていない、これなら此モデルを使はなくつてもよい譯だ、此モデルを寫生したら、此モデルの感じを研究するのだ、

さもないと、若し大作などの場合に、女神などを描こうと思つても下女のような感ししか出なくなる道理だと、一も二もなく感じた、研究生は解つたのか解らぬのか、皆少さくなつてハイハイと聞いている、中には八重洲橋邊を寫したのを持てきて見せる、茲に少しアクセントを入れたらよかるゝなどと評せられる、今度は僕の番だ、何だかうれいような氣かする、これは無難な作だが、少しパツクとの調和が悪いと云はれた、これから石膏の方の番だ。

水曜 晴 但時々曇

今日はモデルが病氣で休んだ、此鼠色の空に日光を受けた白帆など面白いだろうと、友のターちゃんも永代橋へ出掛けた、前景には西洋形の破船があつて、中景は順風に隅田を溯つてゐる帆船が二三艘遠景としては石川島の造船所だ。實にお詠へ向^{アツラ}だ。どうじや寫そうぢやないかと云ふと、あまり船が複雑だと云ふ、何だ君はこんな所が面白いと云ひ出した、茲に端なく畫論が起つた、ターちゃんの云ふのは、こうだ、こんな複雑な所を寫しても、出鱈目になつて研究にならぬ、それよりも、向ふの運送店に日の當つた處を忠實にやつたほうが研究になると云ふ。僕もまけていず、複雑な所を寫したからとて、出鱈目になる事はない。帆船一本々々丁寧に寫したとて何になる、要は感じにある、既に此景に對して或美觀を覺えたなら、其感じを寫して見るも研究だ、君の様な事を云つていたら、活動物などは寫すことは出来ぬ、君がいくら忠實に運送店を寫したとて、少

しも誤りなく寫すことは出来ぬ、してみれば此景だつて、君が感しただけ寫したらよい、いらぬ所は描かなくてもよい、と云ふと、ターちゃんは又云ふ。それはいけぬ吾々の時季は、未だそんな自然物を取捨するだけの腦力がない、自然を十分忠實に誤りなく寫してこそ研究になるのだ、君のような寫生の仕方では、幾百枚描いたとてうまくならぬと、なか／＼双方勝負の見込が付かぬ、フト氣がつくと人が澤山集つてゐる、オ、寒いね、何時だ、三時半。オヤもうだめだ歸ろうと、とうとう何もかゝらずに歸つた。翌日ターちゃんから手紙が來た、曰く、昨日は寒いのに御苦勞さん、あの畫論は、宅でよく／＼考へてみたら、君のも道理だ、僕のも道理だ、要するに人々に依つて其趣味を異にするので、君が隅田川を描こうと、僕が運送店を描こうと勝手だ、あすは伸直りをして一しよに出掛けよう。」終

最新の印象

愛知縣枇杷島町

吉田 興 三

△現今の繪畫には田園の聲が多い。自然の聲が多い。その割合に都會の聲が少い。人間の聲が少い。私はもつと都會を観察して貰ひたい。人の心裡を深く描いて貰ひたいものだ。

△人の心裡を表面に描き出すとは必ず容易な事ではなからう。

私は、自分に何事かを思ひ感じたその刹那の表情態度を鏡にうつして微細なる研究をして貰ひたい。そこに大なる主觀のはの